令和５年９月13日

令和５年夏期における水難の概況

警察庁生活安全局生活安全企画課

１　概要

(1) 全国の発生状況

令和５年夏期(７～８月の２か月間をいう。以下同じ。)における水難は

- ○　発生件数　453件　（前年対比　－６件）
- ○　水難者　568人　（前年対比　－70人）
  - うち死者・行方不明者　236人　（前年対比　＋８人）

であった（数値は速報値）。

このうち、中学生以下は

- ○　発生件数※　49件　（前年対比　－１件）
- ○　水難者　106人　（前年対比　－14人）
  - うち死者・行方不明者　16人　（前年対比　＋７人）

であった。

過去５年間の夏期における水難発生状況は概ね横ばいである。

※中学生以下の水難発生件数は、水難者が中学生以下のみの場合をいう。

(2) 都道府県別水難発生状況

水難発生件数を都道府県別にみると、最も多いのが東京都で31件、次いで岐阜県が28件、神奈川県が27件であった。

２　特徴

(1)　年齢層別

水難者568人について、中学生以下は、106人（18.7%）である。

(2)　場所別・行為別（全年齢層）

水難者568人について、発生した場所別にみると、多い順に

- ○　海　314人（55.3%）（前年対比±０人）
- ○　河川　203人（35.7%）（前年対比－74人）

であり、行為別にみると、多い順に

- ○　水遊び　160人（28.2%）（前年対比－54人）
- ○　魚とり・釣り　78人（13.7%）（前年対比－26人）
- ○　水泳　69人（12.1%）（前年対比＋１人）

で水遊び、魚とり・釣りが減少した。

死者・行方不明者236人について、発生した場所別にみると、

- ○　海　106人（前年対比－７人）
- ○　河川　100人（前年対比＋12人）

で河川が増加し、海が減少した。

(3)　場所別・行為別（中学生以下）

中学生以下の死者・行方不明者16人について、発生した場所別にみると、多い順に、

- ○　河川　10人（62.5%）

○　海　　３人（18.8%）

であり、行為別にみると、最も多いのは

○　水泳　　７人（43.8%）

であった。

注：%は、小数点以下第２位を四捨五入。（表３～10においても同じ。そのため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。）

３　水難の防止対策

水難を未然に防ぐためには、海や河川など、それぞれの自然環境の特徴を理解し、水難につながりやすい危険な場所、危険な行為などを知ることが重要であり、次に掲げる点に留意する必要がある。

○　危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水（海）藻が繁茂している場所、水温の変化や水流の激しい場所、深みのある場所等の危険箇所を事前に把握して、近づかない。また、子供を危険箇所に近づけない。

○　的確な状況判断

海や川に行く際には、事前に気象情報を把握し、風雨、落雷等の天候不良時や上流で雨が降っているなど、河川の増水のおそれが高いときには、釣りや水泳、中洲や河原でのバーベキューなどを行わない。

また、海においては、天候の変化や波の高さに注意を払い、海岸の地形や沖合で台風が発生しているなどにより、離岸流や高波が発生するおそれが高いときは、海に入らない。

また、体調が悪いとき、飲酒したときなどは、海、河川に入らない。

○　ライフジャケットの活用

釣りやボート等で水辺に行くときは、必ずライフジャケットを着用（体のサイズに合った物を選び、正しく着用）する。

○　遊泳時の安全確保

・　掲示板、標識等により「危険区域」と標示された区域内に入らない。
・　遊泳区域を標示する標識、浮き等を移動し、又は損壊しない。
・　遊泳区域以外の水域で遊泳しない。
・　遊泳中、他人に抱きつくなどの遊泳上危険な行為をしない。
・　遊泳に当たっては、水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳する。
・　海水浴場として開設されていない場所は、監視員が不在であるなど安全が確保されていないため、開設の有無、監視員の存在等を確認する。

○　保護者等の付添い

子供の水難防止のため、子供一人では水遊び等をさせず、幼児や泳げない学童等には、必ずライフジャケットを着用させ、その者を保護する責任のある者が付き添うなどして、目を離さないようにする。

表1　水難発生状況（過去5年）

（夏期）

	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	総数	中学生以下	総数	中学生以下	総数	中学生以下	総数	中学生以下	総数	中学生以下
発生件数(件)	461	62	504	60	451	67	459	50	453	49
水難者（人）	594	107	616	101	565	110	638	120	568	106
死者・行方不明者	239	14	262	16	212	16	228	9	236	16
死者	237	14	260	16	204	16	225	9	235	16
行方不明者	2		2		8		3		1	
負　傷　者	112	29	73	15	77	15	81	16	79	20
無 事 救 出	243	64	281	70	276	79	329	95	253	70

注:「発生件数（件）」の、「中学生以下」欄は水難者が中学生以下のみであった件数を示す。

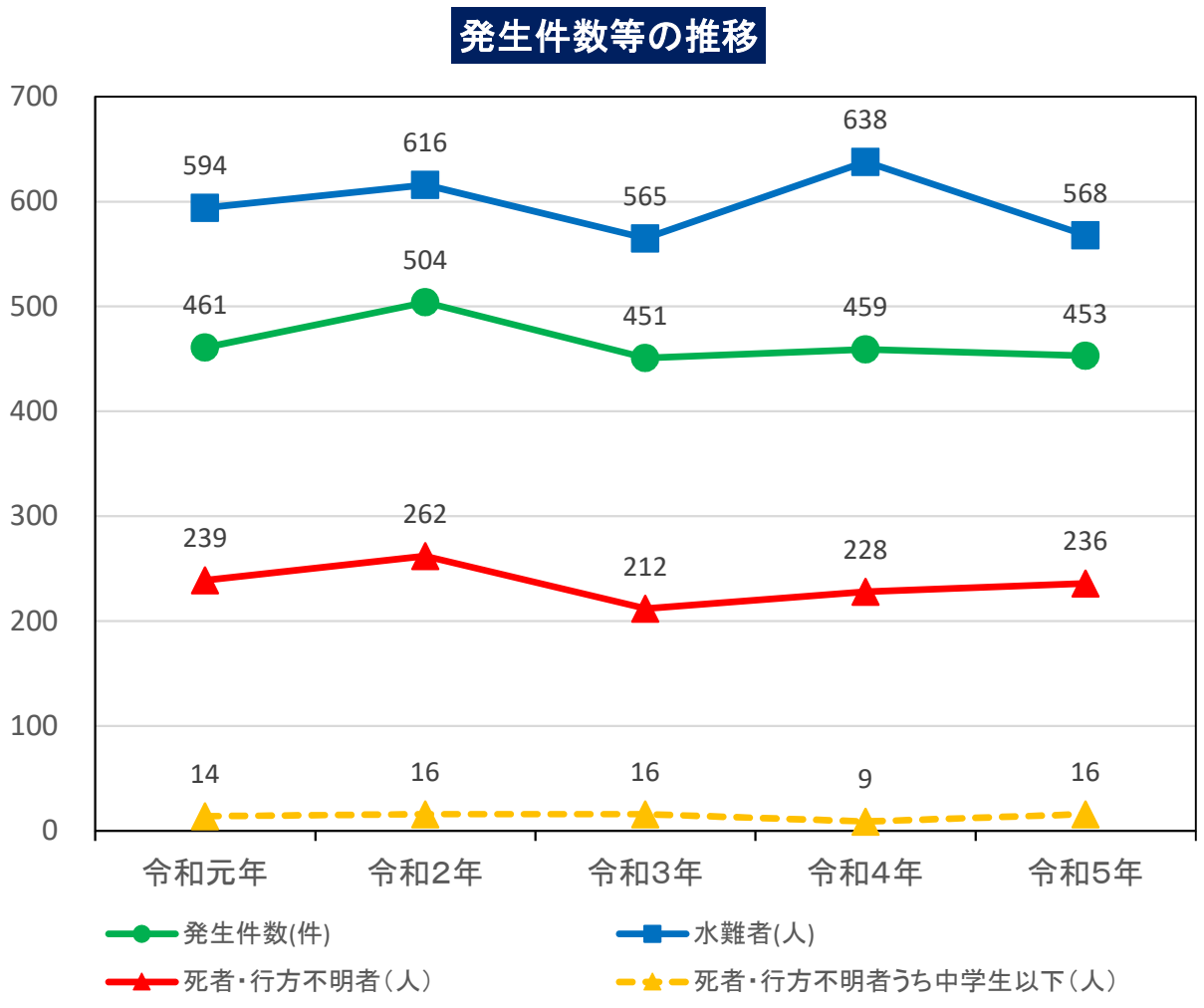


表2　都道府県別水難発生状況

（令和5年夏期）

		発生件数（件）		水難者総数（人）									
						死者		行方不明者		負傷者		無事救出	
			うち中学生以下		うち中学生以下		うち中学生以下		うち中学生以下		うち中学生以下		うち中学生以下
北海道		14	2	24	4	6				2	1	16	3
東北	青森	5		6	1	5	1					1	
	岩手	5	2	5	2	1				3	1	1	1
	宮城	3		3		3							
	秋田	3		3		2						1	
	山形	3	1	3	1	2						1	1
	福島	6		7		5				1		1	
東京		31		34		18				3		13	
関東	茨城	14	1	19	3	4				1	1	14	2
	栃木	5	1	5	1	2				1		2	1
	群馬	1		1		1							
	埼玉	2		2		2							
	千葉	10	1	14	1	3				1		10	1
	神奈川	27	1	48	16	9	1			12	5	27	10
	新潟	17	3	24	7	7				4	1	13	6
	山梨	7		8		3				1		4	
	長野	1	1	1	1	1	1						
	静岡	22	3	25	3	6	1			5		14	2
中部	富山	9	1	10	2	5				2		3	2
	石川	6		8		4				1		3	
	福井	11	1	11	1	8				2	1	1	
	岐阜	28	4	36	9	12	1			3		21	8
	愛知	12		15	1	7				1		7	1
	三重	12	3	13	4	7	1			2		4	3
近畿	滋賀	13	2	14	2	7	2			2		5	
	京都	7	1	7	1	6	1					1	
	大阪	2		2		2							
	兵庫	19	1	20	2	13				3	1	4	1
	奈良	3		7	3							7	3
	和歌山	12	2	16	2	9	1			1		6	1
中国	鳥取	5		7	2	1				1		5	2
	島根	8	1	12	4	2				2		8	4
	岡山	11	2	11	2	6	1			2	1	3	
	広島	5	1	5	1	3				1	1	1	
	山口	11	2	12	2	7				4	2	1	
四国	徳島	6		8	1	1				3		4	1
	香川	2		2								2	
	愛媛	4	2	5	2	3						2	2
	高知	8	1	8	1	5						3	1
九州	福岡	12	2	18	7	7	3			3	2	8	2
	佐賀	4		4		4							
	長崎	9		15	5	5						10	5
	熊本	5	1	5	1	3				1	1	1	
	大分	11	1	15	3	7	1	1				7	2
	宮崎	4		4		2						2	
	鹿児島	17	3	20	5	9				2		9	5
	沖縄	21	2	26	3	10	1			9	2	7	
計		453	49	568	106	235	16	1		79	20	253	70

表3　年齢層別　水難者数

（夏期）

	令和5年	
	人数	構成比
中学生以下	106	18.7%
未就学児童	17	3.0%
小学生	62	10.9%
中学生	27	4.8%
高校生又はこれに相当する年齢の者	26	4.6%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	289	50.9%
65歳以上の者	131	23.1%
不明	16	2.8%
合計（人）	568	

表4　場所別　水難者数

（夏期）

	令和5年	
	人数	構成比
海	314	55.3%
河川	203	35.7%
湖沼池	28	4.9%
用水路	14	2.5%
プール	8	1.4%
その他	1	0.2%
合計（人）	568	

表5　行為別　水難者数

（夏期）

	令和5年	
	人数	構成比
水泳	69	12.1%
水遊び	160	28.2%
魚とり・釣り	78	13.7%
作業中	24	4.2%
通行中	28	4.9%
その他	209	36.8%
陸上における遊戯・スポーツ中		
ボート遊び	54	9.5%
水難救助活動	17	3.0%
シュノーケリング	19	3.3%
スキューバダイビング	9	1.6%
サーフィン	16	2.8%
その他	35	6.2%
不明	59	10.4%
合計（人）	568	

表6　年齢層別　死者・行方不明者数

（夏期）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
中学生以下	14	16	16	9	16	6.8%
未就学児童	3	4	3	1	1	0.4%
小　学　生	11	7	10	6	11	4.7%
中　学　生		5	3	2	4	1.7%
高校生又はこれに相当する年齢の者	10	9	8	7	5	2.1%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	113	114	82	97	95	40.3%
65歳以上の者	88	113	100	107	106	44.9%
不　　明	14	10	6	8	14	5.9%
合計（人）	239	262	212	228	236	

死者・行方不明者の年齢層別構成比の推移

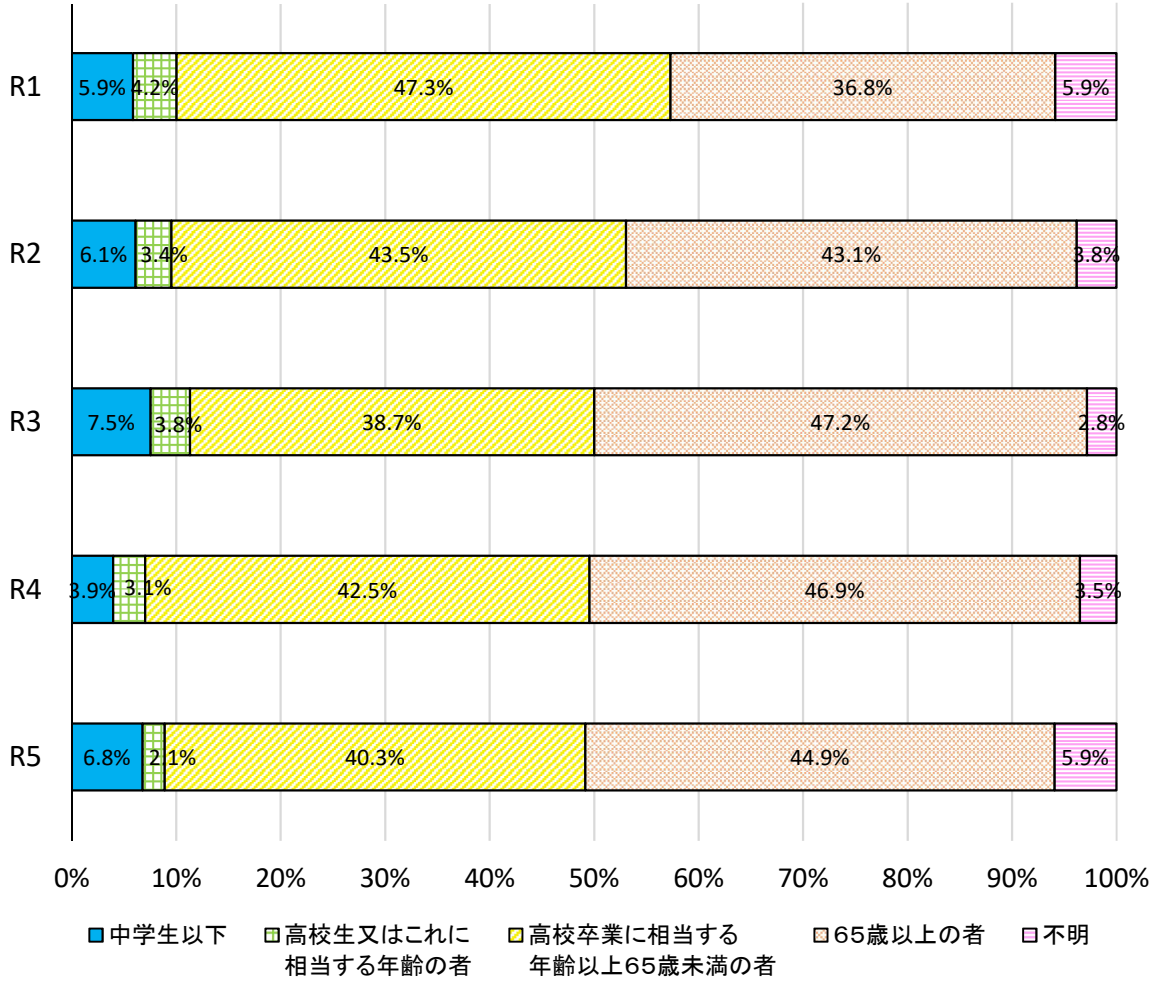


表7　場所別　死者・行方不明者数

（夏期）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	121	114	94	113	106	44.9%
河川	92	112	87	88	100	42.4%
湖沼池	10	11	13	9	16	6.8%
用水路	9	20	16	15	11	4.7%
プール	5	2	2	1	2	0.8%
その他	2	3		2	1	0.4%
合計	239	262	212	228	236	

死者・行方不明者の場所別構成比の推移

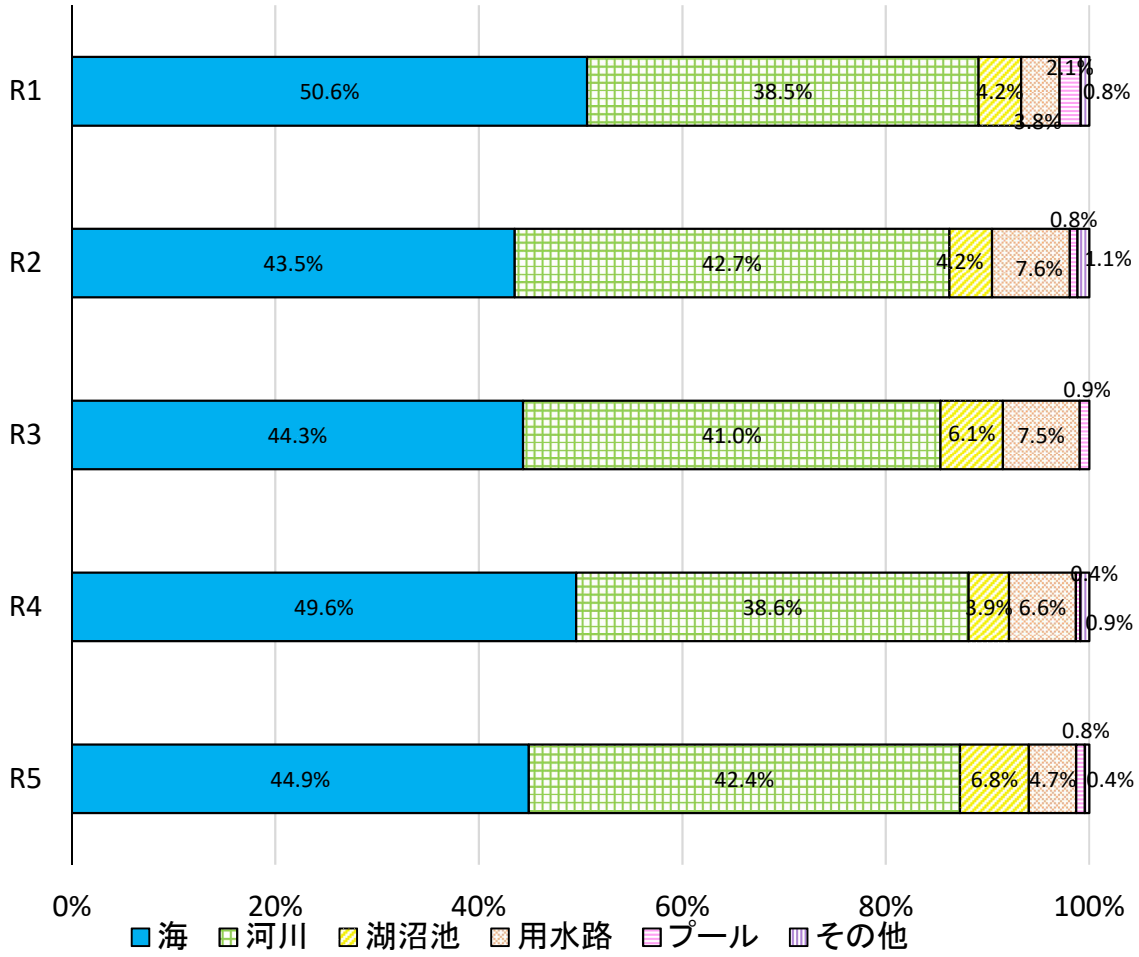


表8　場所別　死者・行方不明者数（中学生以下）

（夏期）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	6	4	4	5	3	18.8%
河川	5	9	9	4	10	62.5%
湖沼池	1	1	2		2	12.5%
用水路		1	1			
プール	2				1	6.3%
その他		1				
合計	14	16	16	9	16	

死者・行方不明者（中学生以下）の場所別構成比の推移

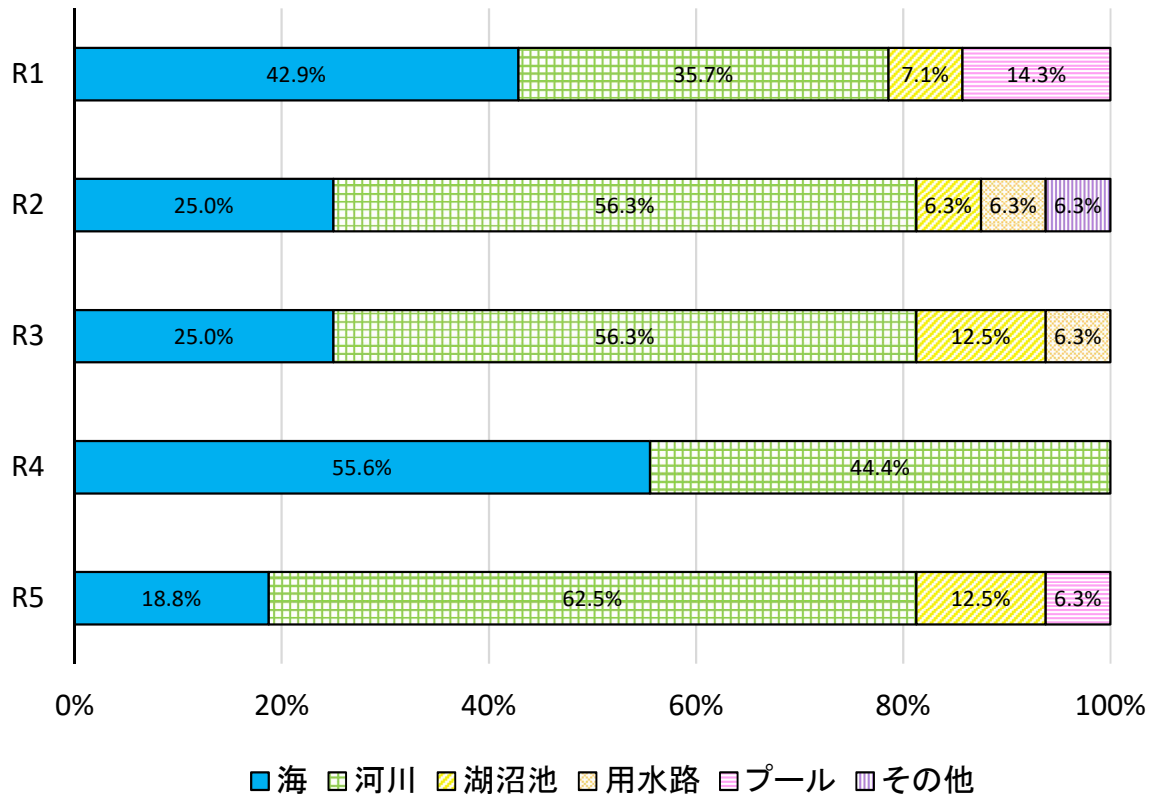


表９　行為別　死者・行方不明者数

（夏期）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	38	28	23	25	39	16.5%
水遊び	42	52	31	29	30	12.7%
魚とり・釣り	67	73	49	56	47	19.9%
作業中	8	13	4	13	14	5.9%
通行中	9	10	11	4	10	4.2%
その他	75	86	94	101	96	40.7%
陸上における遊戯・スポーツ中				2		
ボート遊び	3	1	3	4	2	0.8%
水難救助活動	5	4	5	8	2	0.8%
シュノーケリング	4	8	10	13	9	3.8%
スキューバダイビング	4	6	3	3	2	0.8%
サーフィン	2	1	4	4	6	2.5%
その他	7	7	12	5	19	8.1%
不明	50	59	57	62	56	23.7%
合計	239	262	212	228	236	

死者・行方不明者の行為別構成比の推移

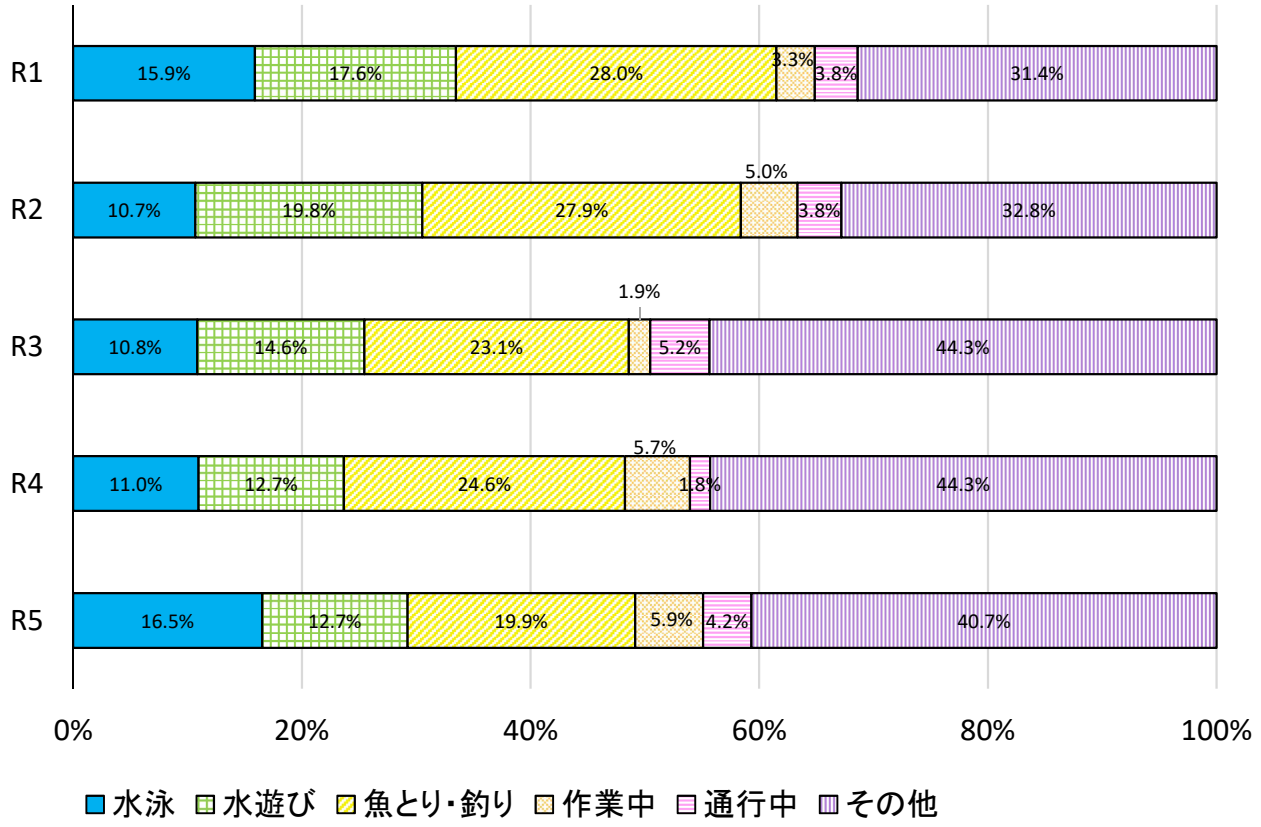
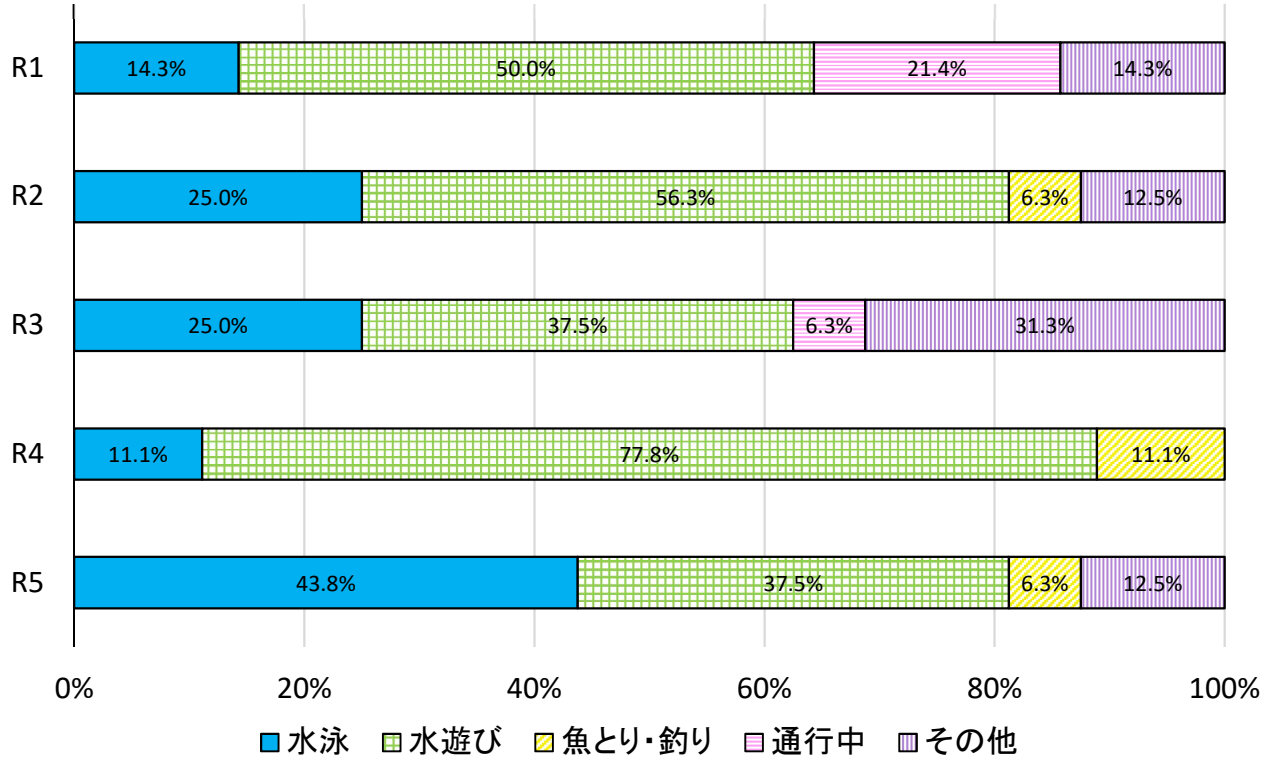


表10　行為別　死者・行方不明者数（中学生以下）

（夏期）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	2	4	4	1	7	43.8%
水遊び	7	9	6	7	6	37.5%
魚とり・釣り		1		1	1	6.3%
作業中						
通行中	3		1			
その他	2	2	5		2	12.5%
陸上における遊戯・スポーツ中						
ボート遊び						
水難救助活動						
シュノーケリング			1		1	6.3%
スキューバダイビング						
サーフィン						
その他	1					
不明	1	2	4		1	6.3%
合計	14	16	16	9	16	

死者・行方不明者（中学生以下）の行為別構成比の推移